

平成29年度 第11回四国中央市子ども・子育て会議 議事要旨

日時：平成30年3月19日(月)13:30～15:00

場所：福祉会館3階会議室2

○委員出席状況

【出席】

	(敬称略)
公募市民	村上 智子
NPO 法人カノン代表	寶利 佳代
四国中央市民生児童委員協議会	富原 賀代
四国中央市立三島東幼稚園長	児山 初美
学校法人四国音楽学院理事長(緑ヶ丘、愛和認定こども園)	高橋 雅之
四国中央市立金田保育園長	三好 玲子
社会福祉法人伊予三島福祉施設協会 東保育園長	高橋 尚子
育児サークル「リトル☆スター」代表「ツインチェリーズ」代表	石川 由加
桜ベンチャー四国中央	星川 光代
公立保育所民営化選定委員会委員	宮崎 政夫
NPO 法人にっこりーの理事長	高原 茂
四国中央地区労働者福祉協議会	井上 俊正

【欠席】

公募市民	好井 啓子
------	-------

○事務局

福祉部長	加地 宣幸
こども課長	藤田 泰
こども課	白石直樹、尾崎智恵子、高橋恵子、高橋貴美子、山田仁美、鈴木健生

○傍聴者 なし

◆開会

◆部長あいさつ 加地福祉部長

◆議事

(1) 子ども・子育て支援事業計画の中間見直し案について

(事務局) 前回の会で見直しが必要とされた資料中赤く表示されている部分について、各担当より説明する。

(事務局) 資料1 1. 幼児期の教育・保育の量の見込みと提供体制について説明

(委員長) 事務局の説明について意見はないか。

(委員) 例えば平成30年度の1号については、確保の内容を1,073人から1,025人に変更している。説明の中で保育士の確保が難しくなっているとのことだったが、そのことも加味した変更なのか。

(事務局) それは加味していない。利用定員の合計である。

(事務局) 2. 地域子ども子育て支援事業 一時預かり事業(幼稚園型)について説明

(委員長) 事務局の説明について意見はないか。

(委員) なし

(事務局) 2. 地域子ども子育て支援事業 放課後児童クラブについて説明

(委員長) 児童クラブについては学校とも連携して施設の確保を進めているとのことだが、この制度とは違うかたちであってもいいので、例えば公民館や地区社協などとも協力して子どもの居場所づくりができればいいと思う。

(事務局) 生涯学習課で所管している放課後子供教室などとも連携して、子どもの放課後の居場所づくりを検討していきたい。

(委員長) 計画の見直しについては事務局の説明のとおり進めてよいか。最終的な取りまとめは委員長に一任願いたい。

(委員) 了承

(2) 家庭的保育事業の認可及び特定地域型保育事業の利用定員について

(事務局) 資料2について説明

(委員長) 給食はどうしているのか。

(事務局) 今は弁当をとったりしているが、認可施設になると自園調理となる。

(委員長) 連携保育はどうなるのか。

(事務局) 現在は連携していない。期限の平成31年度末に連携ができるまでは卒園児の受け入れを市が協力する。

(委員) 職員は7人とあるが、給食を作る人は別にいるのか。

(事務局) 事務員や調理員は別にいる。

(委員) 保育園という名称は使用して問題ないのか。

(事務局) 頭に小規模保育施設とつける必要がある。

(委員) 保育従事者は保育士割合1/2以上とされているなど、小規模保育施設(B型)は通常の保育園とは異なることを利用者が納得したうえで入園してもらう必要がある。また、利用調整の割り振りについても一般の保育園と小規模保育施設とを同じ基準で割り振るのはどうかと思う。

(事務局) 入所申込みでは利用者の希望を書いてもらうようにしている。一般の認可保育園を優先とい

う委員の意見も理解はできる。

(委員長) そのあたりは委員の意見も酌んで進めてもらいたい。

(委員) ひまわりハッピー保育園を申し込む方については、園の職員体制などを理解したうえで申し込みしているのか。

(事務局) 施設の情報についてはオープンにしたうえでの申し込みなので、理解していると考えている。

(委員長) 他に意見はないか。内容について確認いただいたということでいいか。

(委員) 了承

(事務局) 追加資料(平成30年度特定教育・保育施設、特定地域型保育施設の利用定員について説明

(委員長) 事務局の説明について質問はないか。

(委員) なし

(委員長) 他になければこれにて議事は終了。

(事務局) 以上をもちまして本日の会は終了となる。各委員の任期は7月末までとなっているので、新年度についても任期まではよろしくお願ひしたい。

◆閉会